

HER2陽性の手術不能または再発乳癌

- ・ 乳癌は、乳腺組織で発生する癌である。年間約9万人が診断され、その大部分が女性であるが、男性においても罹患する。全ての癌種のうち、2017年時点で女性における罹患患者数が最も多い癌種であり、死亡の原因としても上位に挙げられている。
- ・ 乳癌患者のおよそ20%で、癌細胞表面にHER2タンパクが過剰発現していることが報告されており、このような患者では、抗HER2薬をその他の抗癌剤と組み合わせた併用治療が行われる。抗HER2薬によりHER2陽性乳癌患者の予後は改善したものの、治療後に再発や転移した患者での治療選択肢は限られており、新たな治療法の開発に期待が寄せられている。
- ・ 手術不能または再発となったHER2陽性乳癌患者では、一次治療として主に、トラスツズマブ+ペルツズマブ+タキサン系抗癌剤の組み合わせで治療を実施する。その後の病勢進行下では、二次治療として主に、トラスツズマブ エムタンシンによる治療を実施する。さらに病勢進行した場合には、抗HER2薬を用いて治療を行うことが推奨されているものの、具体的にどの組み合わせで治療を行うのかについてはコンセンサスが得られていない。
- ・ トラスツズマブ デルクステカン(エンハーツ)はトラスツズマブにエキサテカン誘導体であるデルクステカンを結合させた薬剤である。治療の適応は標準的な化学療法が困難な、HER2陽性の手術不能または再発の乳癌患者であり、主として三次治療以降で用いられる。

図1: HER2陽性の手術不能または再発乳癌に対する治療の概略



表1: 治療回数ごとの標準的な治療

治療回数	標準的な治療
一次	トラスツズマブ+ペルツズマブ+タキサン系抗癌剤
二次	トラスツズマブ エムタンシン
三次	抗HER2薬の継続

表2: 三次治療で用いられる併用療法

抗HER2薬	抗HER2薬に組み合わせられる抗癌剤
ラパチニブ	カペシタビン
トラスツズマブ	エリブリン、カペシタビン、ビノレルビン等
トラスツズマブ+ペルツズマブ	エリブリン、カペシタビン、ビノレルビン等